

みはまデイズを通して 私が伝えたいこと

日本福祉大学 経済学部経済学科 4年 臼井 諒

みはまデイズとは？

- ・ 美浜町から委託を受けて作ったシティプロモーションコンテンツ
- ・ 移住者を増やす目的で作られている
- ・ **3年間**続くプロジェクトになっていて**2年目**のコンテンツも制作中
(みはまデイズ春夏編PVも制作中)

私は撮影と編集を担当。



みはまデイズを作り思ったこと・・・

住民目線と旅行者目線の違い

安曇野と美浜は何が違うかという視点で撮影できた。

住んでみないとわからないこと、住んでいるから気づかないこともある。（第三者の目が必要）

人とのつながり

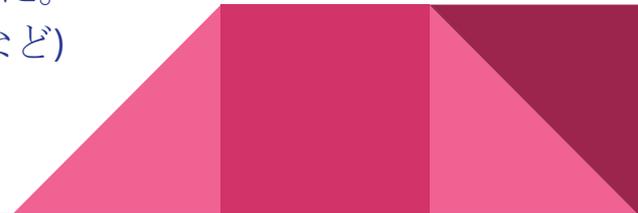
地域の人とつながることの重要性

被写体有っての、みはまデイズ（パイプが太いからこそできた）

みはまデイズを作ることで美浜に住む人たちの心の温かさに気づいた。

みはまにはチャレンジ精神の豊富な人がたくさんいた。（山の広場など）

ただ大学生として過ごしていたら絶対に気づけなかった。



みはまデイズで苦勞したところ・・・

- ・みはまデイズは暮らしの視点。観光プロモーションビデオではない。観光地よりも暮らしに寄り添った撮影をする。イベントだけでもダメ。こんな生活ができるよ！という美浜ならではのライフスタイルを表現する。

- ・これからもプロモーションを継続すること

みはまデイズは3カ年計画。まだ1/3。やりっぱなしではダメ。今度は自分たちがイベントを主催する。

good time mihama 2



改めて自己紹介と経歴

日本福祉大学 経済学部 経済学科4年生 臼井 諒(うすいりょう)

長野県安曇野市出身 (美浜みたいな感じのところ)

2009 梓川高校放送部に入部。映像編集と出会う。

2012 日本福祉大学へ入学。 学内で募集がかかっていたアルバイトを始める。

2013 正社員の人に声をかけてもらい、サプライズビデオの編集を担当。

現在 学内のデジタルサイネージ、企業紹介ビデオ、

TabiChita、みはまデイズ、知多市観光協会PV等制作。就職先：

(いつか美浜に帰ってくる)

チャンスを活かして

みはまデイズを自分が作ることになったキッカケ。

①高校のとき放送部に入った。

②日本福祉大学にきて、映像に触れるアルバイトを始めた。

③飲み会の席で正社員の人と話した。

どんなことにも積極的に参加・行動すること＋アピールすること。

何に対してもこれはチャンスかもしれない、と思うこと。

(種をまこう。)



友達から広がった輪もある

(友人から長野でのボランティアに誘われて行って見た→

事務の人と積極的に話すことになった→

後輩が作った映像を評価するゲストとして呼ばれるようになった)

自分の知らない情報を持っている。

自分より自分のことを知っているかもしれない。(就活で役立つ)

お互いを高めあうこともできる。

相談できる相手がいると心強い。

おまけ：最近作ったもの

恋する美浜

バーチャルリアリティ（VR）のコンテンツ作り（勉強歴1週間）

